

## 再編の対象施設(平成30年12月)

- 公立保育所: 大竹保育所、本町保育所、立戸保育所、なかはま保育所、木野保育所(本町保育所分園)
- 子育て支援施設: 子育て支援センター(どんぐりHOUSE)、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館
- 児童館: 阿多田児童館、栗谷児童館

※ 現在休止中です。

## ▶再編・整備に向けての課題整理

公立保育所などの再編・整備の方針や各種計画の方向性を踏まえて、対象施設が抱える課題を解決し、実現しなければならないことを具体化しました。

### ○適正な規模の保育所の整備および効率的な運営

平成29年度から3歳未満児の待機児童が発生しているため、解消が必要です。

### ○安全で快適な保育環境の整備・改修

公立保育所は新しいものでも30年以上経っており、計画的な修繕が必要です。また、駐車スペースの不足により、送迎時の道路混雑や事故発生のリスクなどがあり、解消が必要です。

### ○保護者のニーズに合った多様な保育サービスの充実

家庭環境の変化により、延長保育、一時預かり、休日保育など、保育サービスのニーズが多様化しているため、対応が必要です。

### ○子育て支援センターの適正な規模・配置の検討

現在の子育て支援センターは利用スペースが狭く、授乳室やランチルーム、相談用の個室などが整備されていないため、利用者のニーズを踏まえた施設整備が求められています。

### ○親子や子ども同士が遊び交流できる屋内施設の整備

天候に左右されず、親子や子ども同士が自由に遊ぶことのできる、一定の広さと遊具などを備えた施設がないため、整備が必要です。

### ○子どもたちの成長段階に応じた相談・情報提供・交流の場の整備

切れ目のない総合的な子育て支援を行うための機能を持った施設が必要です。

### ○幼児教育・保育の推進および認定こども園化の検討

全国的に幼稚園と保育所の機能を持ち、保護者の就労状況などに関わらず子どもを受け入れることができる、認定こども園の普及が進んでおり、検討が必要です。

## ▶「子育てしてみたいまち おおたけ」を目指して

課題を解決するための保育所などの再編・整備の方針として「大竹市公立保育所等再編基本方針」を平成30年12月に策定しました。



実現しないといけないことがたくさんあるね。次号で、「大竹市公立保育所等再編基本方針」の具体的な内容を見てみよう。

～「子育てしてみたいまち おおたけ」を目指して～

## 「大竹市公立保育所等再編基本方針」①

子どもたちが健やかに成長していくためには、充実した子育て支援施設は不可欠です。

今回は、子育て支援の一翼を担う公立の保育所・子育て支援センター・児童館などに焦点を当てます。今後の整備の方向性を定めた「大竹市公立保育所等再編基本方針」をコイちゃんと一緒に見ていきましょう。

※ 公立には、指定管理者制度を導入している施設も含まれます。



## ▶再編・施設整備の必要性

人口減少や少子化により、子どもの数は減っていますが、核家族化や女性の社会進出などにより、保育ニーズは多様化しています。

公立保育所が限られた人的・物的資源を有効に活用し、0歳児保育や延長保育などの保育サービスを充実させていくためには、再編が必要です。

## ▶公立保育所の必要性

平成27年5月に作成した「大竹市公立保育所等の今後のあり方」では、公立保育所に求められる機能と役割を整理し、一定規模で維持することとしています。

### ●機能・役割(強み)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ①関係機関との幅広い連携         | ④災害発生時の避難場所        |
| ②配慮を必要とする児童の積極的な受け入れ | ⑤地域のセーフティネットとしての役割 |
| ③多機能化の推進             | ⑥経験豊富な保育士の活用       |

そのうえで、今後の公立保育所の再編・施設整備の方向性を決めました。

### ●公立保育所の再編の方向性

#### ①施設の効率化

保育ニーズの見込み、保育サービスの内容、保護者の利便性、地域性、民間保育所の配置状況、本市の正規職員数と臨時職員数などを総合的に考えて、効果的・効率的な保育所運営できるように公立保育所を適切に配置します。

#### ②施設などの改善および多機能化

各公立保育所は建築してから30年以上が経ち、施設が古くなっていることに加えて、バリアフリー対策が行われていないなど構造や設備にも課題があるため、施設などを改善します。併せて、子育て支援の基幹施設として、多様なニーズに対応可能となるよう施設を多機能化します。

#### ③周辺環境への配慮

現在の公立保育所は、住宅密集地などに立地しており、駐車場不足などから、送迎時の道路混雑が大きな課題となっています。送迎時の駐車スペースの確保など、周辺環境に十分配慮します。

いっしょに



考えよう18

公共施設マネジメント  
問い合わせ  
福祉課 ☎2148  
企画財政課 ☎2125

限られた資源で、より良い子育て環境を整備するためには、再編が必要なんだね。



「おおたけ」PRキャラクター  
コイちゃん